



学校だより

(4月号) 令和6年4月8日発行

<https://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
 - ・すすんで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子
- 《今月の生活目標》 「学習のきまり」を守ろう

子どもたちの願いを第一に ～夢にむかつて～

校長 岡田 健彦

桜の花が満開に咲く中、子どもたちは、期待と希望に胸を膨らませ、登校してきました。令和6年度は、2～6年生222名に、新たに元気な1年生48名を迎えて、総勢270名、学級数は14クラスでのスタートとなりました。

さて、保護者の皆様、お子さまの御入学、御進級、おめでとうございます。子どもたちは、新しい教室で新しい先生や新しい友だちと、目を輝かせながら学校生活を始めました。

私は、白石 徳一郎校長の後任として、本校に着任いたしました岡田 健彦(おかだ たけひこ)です。歴代の教職員の諸先輩方、保護者の方々、地域の皆様が築いてこられた御功績を継承し、さらに発展させるよう全力で努めてまいります。

さて、今年度もコミュニティ・スクールとして、引き続き、皆様の御支援をいただきながら、地域の特色を生かした学校運営を進めてまいります。前年度の第3回学校運営協議会で策定した本校の学校教育目標等は、以下のとおりです。



本校のサクラソウ

<学校教育目標>	夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
<めざす学校像>	学校・家庭・地域が信頼の絆で結ばれた、ぬくもりのある学校
<ユネスコスクール>	人や自然を大切にし、よい行いに進んで取り組む児童の育成 ～人にやさしく、自然にやさしく～
<コミュニティ・スクール>	地域や保護者とともに、地域のつながりを大切にし、地元を愛する子どもを育てる
<めざす児童像>	○すすんで勉強する子(ひとみ輝く) ○自分からあいさつのできる子(あかるく) ○仲よくたすけあう子(あたたかく) ○じょうぶな子(ねばり強く)

本校は、ユネスコスクールに認定されています。今年度も地域のすばらしい伝統や自然豊かな環境を生かし、環境教育、福祉教育、人権教育に力を入れていきます。また、SDGs教育を進めるため、様々な教科との関連をもたせた探究的な学びを取り入れ、「自ら問いをもち、自分の考えを基に、主体的・協働的に探究する新開っ子」を育成していきます。たくさんのボランティアの方々のお支援をいただきながら地域のすばらしさを知り、進んでよいことに取り組もうとする子どもたちに育ってほしいと願っています。

私事で恐縮ですが、本校の門に入ったときに、「懐かしい」と感じました。今から、46年前の夏、私は、できて間もない本校のプールで行われた夏休みの水泳大会に選手として出場しました。「新しくてきれいな学校だな」「さあ、頑張るぞ!」。仲間と共に頑張り、入賞した喜びの気持ちを思い出しました。当時の私は、将来、自分が学校の教員になり、本校に赴任することになるとは夢にも思っていませんでした。本校の子どもたちには、予測困難と言われる今の時代だからこそ、自らがよりよい生き方ができる資質や能力を身に付けていって欲しいと願っています。私自身子どもたちの夢に向かって、子どもたちとともに全力で学び合っています。

教職員一同、「しびらきっ子」の願いを実現できるように、一人ひとりに目をかけ手をかけて寄り添いながら個性を発揮し輝いていけるようにしていきます。本年度も本校への御理解と御協力、また、御支援を賜りますようをよろしくお願い申し上げます。